

令和 6 年度
第 1 回 高岡の森弘前藩歴史館協議会
資 料

令和 6 年 1 2 月 2 5 日（水）

高岡の森弘前藩歴史館

案件 1 令和5年度事業報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数、件数	備 考
展覧会入館者数	5,899人	目標7,000人 (84.3%)
イベント参加者	312人	6/25流鏑馬 312人
歴史館講座参加者	34人	5/27 第1回 18人 11/11 第2回 16人
出前講座参加者数	28人	弘前市図書館2階視聴覚室
特別利用等件数	2件	2件、合計 88点
合 計	6,273人 2件	

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催)

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
帰ってきた！ 高岡の森どうぶつ園 【4/10～7/2】	81日	古来よりヒトの身近にあった動物たちについて、江戸時代における関わりを示す歴史資料や、その愛らしい姿を描いた絵画資料等により紹介。 (※令和3年度冬の企画展リバイバル)
武具刀剣展 【7/19～9/15】	58日	武家を象徴する刀剣や甲冑、弓矢・馬具など、弘前藩主津軽家や藩士たちゆかりの品を紹介。
暮らしを彩る武家の道具 【10/2～12/17】	75日	弘前藩主らの身近に置かれ、多彩な趣向が凝らされた屏風や文具などの調度品や書画などを紹介。
高照神社絵馬展 【1/8～3/17】	68日	弘前藩主およびその家族、重臣らが高照神社に奉納した大絵馬を中心に、その他関連する古文書なども紹介。
合 計	282日	

【展覧会入館者詳細】

案件 1 (令和5年度事業報告)

区 分				帰ってきた！ 高岡の森 どうぶつ園	武具刀剣展	暮らしを彩る 武家の道具	高照神社絵馬展	計
観覧料収入（円）				376,610円	429,520円	254,000円	113,010円	1,173,140円
会期日数（日）				81日	58日	75日	68日	282日
観覧者総計（人）				1,997人	1,980人	1,308人	614人	5,899人
一日当り観覧者数（人）				25人	34人	17人	9人	21人
市内小中学校団体観覧者数				165人		132人		297人
うち学校数				2校		2校		4校
有料観覧者数	単独券	個人	一般	1,195人	1,320人	746人	358人	3,619人
			福利厚生会	1人	1人			2人
			高大	25人	99人	12人	21人	157人
			小中	33人	77人	17人	12人	139人
			計	1,254人	1,497人	775人	391人	3,917人
		団体	一般	26人	22人	108人		156人
			高大					
			小中		20人			20人
			計	26人	42人	108人		176人
	共通券	個人	一般	12人	11人	7人	3人	33人
			高大		1人			1人
			小中					
			計	12人	12人	7人	3人	34人
		団体	一般					
			高大					
			小中					
			計					
	合計			1,292人	1,551人	890人	394人	4,127人
	有料観覧者割合			64.7%	78.3%	68.0%	64.2%	70.0%
	無料観覧者数	65歳以上			295人	188人	213人	158人
小中			200人	71人	128人	14人	413人	
障がい者			76人	32人	33人	12人	153人	
留学生			1人	2人	2人	2人	7人	
介護者			32人	15人	14人	7人	68人	
共通券		一般	16人	23人		2人	41人	
		高大		1人			1人	
		小中	3人	3人			6人	
減免		一般	3人				3人	
		高大						
		小中						
多子家族		親	6人	14人	1人		21人	
		子	14人	19人	2人		35人	
視察			13人	20人			33人	
招待			46人	41人	25人	25人	137人	
合計			705人	429人	418人	220人	1,772人	
無料観覧者割合			35.3%	21.7%	32.0%	35.8%	30.0%	

(3) イベント開催

①流鏑馬（高照神社馬場跡）

○実施日:令和 5 年 6 月 2 5 日（日）1回目 9:30～、2回目 12:15～

○内容 天地淨射の儀（鳴鏑 4 射）、流鏑馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者：3 1 2 人（歴史館入館者：1 1 3 人）

これまでの来場者数の推移

平成30年度 9/30(日) 293人(1回実施)

令和元年度 6/16(日) 午前の部・午後の部 合計638人(2回実施)

令和2年度 10/ 3(土) 入れ替え制1回目280人、2回目129人、3回目119人 合計528人

令和3年度 10/ 2(土)に予定 新型コロナウイルス感染者急拡大等のため中止

令和4年度 9/ 25(日) 入れ替え制1回目268人、2回目146人、3回目148人 合計562人

※市ホームページ、広報ひろさき、ポスターで周知。



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

○アンケートを web 限定で配布プログラムに QR コードを付けて引き続き実施… 1 9 人から回答

結果

①初めて流鏑馬を観覧…68%

②イベント前後で歴史館に入館…57%

③満足…89%

④今後歴史館に来館する可能性は「高い」を 10 段階中 7 以上選択した人…63%

⑤自由記載(抜粋)

●初めてづくしだったので、こういった歴史は何も知らないのもっと知りたいと思いました。

●流鏑馬を毎年楽しみにしています。無理を承知で言いますが、ぜひ年 2 回くらい開催してほしいです。流鏑馬に参加された騎手の方々との交流なども、流鏑馬終了後にお時間などありましたらぜひお願いいたします。

②その他

これまで実施してきたロビーコンサート、抜刀道及び古武道演武イベントについては、緊急かつ不可欠な施設管理関連費用増大により、当分の間原則休止することとした。

(4) 講座等

①歴史館講座

歴史館に関係するテーマで講座を 2 回開催。

開催日	テーマ	講師	募集 定員	参加者数 (当日入館者数)
5/27(土) (第 1 回)	弘前藩とかかわった野生動物の話	竹内 健悟 氏 (青森大学客員教授)	25 名	18 人 (61 人)
11/11(土) (第 2 回)	東北の馬からみた生類憐みの令 ー弘前藩庁日記などから読み解くー	兼平 賢治 氏 (東海大学文学部准教授)	30 名	16 人 (33 人)

会 場：映像・講話室（電話申込）※第 1 回目のみ予約制無料送迎車を運行（市立観光館⇄歴史館）
募集定員：通常 30 名定員のところ、コロナ対応により一部調整

②刀剣保護プロジェクト 刀剣鑑賞基礎講座

○実施日：1回目 令和 5 年 8 月 19 日(土) 14:30～15:10

2回目 令和 5 年 8 月 27 日(日) 10:30～11:30

○内 容：刀剣展に展示されている刀剣の中から選りすぐりの刀剣について、若手刀剣愛好家(日本美術刀剣保存協会青森県支部所属)がその目線による鑑賞ポイントや魅力などを分かりやすく説明するもの

○参加者：1回目 17 人（歴史館入館者：55 人）

2回目 37 人（歴史館入館者：93 人）

○アンケート結果より抜粋

- 刀剣の見方というのはなかなか知る機会がないのでとても良い体験になった。
- 刀の特徴だけでなく、実物を目の前にして特徴などを聞いて、今まで以上に刀剣を身近に感じることができました。

③弘前市出前講座等の講師派遣

・弘前市出前講座 No.64 「名君信政と高照神社の宝物」

実績:1 回 28 人（依頼団体…弘前古文書読解会）

(5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和 5 年 10 月 17 日（火）～22 日（日）のうち、歴史館分は 10 月 18 日（水）～10 月 19 日（木）

所属大学・参加人数等：茨城大学 1 名 国士館大学 1 名 弘前学院大学 2 名 計 4 名

実習内容：①施設・展示・境内（高照神社）等解説

②資料の取り扱いについて（武具等）

③石造物調査・拓本採取 ※雨天のため実施出来ず

(6) 出版物等の作製

○出版物実績：なし

○昨年度作製のたか丸くん 歴史館バージョンデザインを活用したクリアファイルを作製、6 月中旬から販売開始

(7) 資料寄贈・寄託等

- ①寄贈: 2 件 2 3 点 (「古写真・任命状・証明書等」、「紺糸威具足 (具足櫃附属)・鏡」)
 ②寄託: 2 件 4 点 (市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更、単年での寄託更新〕、県重宝「日本刀 銘 相州綱廣」・市指定有形文化財「刀 銘 陸奥大掾橘盛宗」)

(8) 特別利用等

- ①資料閲覧・撮影: 1 件 8 7 点 (「武教全書」等〔近世兵学思想の展開を検討するため〕)
 ②画像データ提供: 0 件
 ③資料掲載・放映: 1 件 1 点 (「貞享四年五月 鼻和庄藤代組石渡村百姓■■■■帳」〔『陸奥新報』に掲載するため〕)
 ※「■■」は判読不能文字を示す。
 ④資料貸出: 0 件

(9) その他の事業等

- ①団体客等への解説対応
 希望する団体等に対し、学芸員により解説を実施 (原則予約制)。
 実績: 2 0 回 4 6 1 人
 上記のうち市内小中学校関係の観覧対応:
 実績: 3 校計 3 回 1 9 5 人

		学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	和徳小	6 年生	4 3 人	史跡等公開活用事業	文化財課
2	北辰中	1 年生	4 1 人	校外学習 (学校個別)	
3	第四中	2 年生	1 1 1 人		

- ②レファレンス対応
 窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。
 実績: 5 4 件

- ③看板設置等
 ○市役所玄関に、展覧会毎に PR 用看板の設置を継続。
 ○市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に 3 本、歴史館建物管理用地道路入口に 1 本設置し PR

- ④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	単価(円)	R5 年度販売実績	累計販売実績	販売開始時期
名品図録	1,000	7 0 冊	4 0 6 冊	令和 2 年 4 月
クリアファイル 2 種類 太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	200	8 6 枚	4 2 5 枚	令和 2 年 3 月
クリアファイル 1 種類 たか丸くん	300	6 7 枚	6 7 枚	令和 5 年 6 月
絵葉書 3 種類 津軽信政着用具足レプリカ・太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	100	3 5 枚	1 6 5 枚	令和 2 年 3 月
ポスター(配布残部)	400	2 0 枚	8 5 枚	令和元年 1 0 月

案件 2 令和 6 年度事業計画並びに経過報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数・件数	備 考
展覧会入館者数	6,232人	目標 7,000人 (89%)
イベント参加者	459人	6/23 流鏑馬 1回目 288人 2回目 171人
歴史館講座参加者	41人	7/20 第1回 17人 11/ 2 第2回 24人 全2回中 2回実施
出前講座等参加者数	61人	
特別利用件数	1件	資料閲覧・撮影 1件58点
合 計	6,793人 1件	

(2) 展覧会関係（年 4 回の展覧会を開催）

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
津軽の刀 -悠久の美をひもとく- 【4/2～5/30】	57日	当地域に伝わる多彩な刀剣を取り上げるとともに、刀剣に関する素朴な疑問・独特な用語などを解説する。
弘前藩の絵画 【6/15～9/1】	76日	弘前藩お抱え絵師の他、津軽地方にゆかりのある絵師らの掛軸・絵馬・屏風などの絵画作品を中心に紹介する。
高照神社展 【9/18～12/6】	78日	岩木山麓に創建された高照神社の歴史と奉納された宝物、祭神である 4 代藩主津軽信政の事績などを紹介する。
貴田稲城奉納絵図展 【12/23～3/16】	76日	山鹿流兵学者貴田孫太夫の子孫貴田稲城によって、高照神社に奉納された絵図類を中心に紹介する。
合 計	287日	

【展覧会入館者詳細】

区 分				津軽の刀	弘前藩の絵画	高照神社展	貴田稲城奉納絵図展	計
観覧料収入（円）				539,220円	383,380円	345,470円		1,268,070円
会期日数（日）				57日	76日	78日		211日
観覧者総計（人）				2,605人	1,822人	1,805人		6,232人
一日当り観覧者数（人）				46人	24人	23人		30人
市内小中学校団体観覧者数				143人	25人	124人		292人
うち学校数				2校	1校	2校		5校
有料観覧者数	単独券	個人	一般	1,669人	1,211人	1,061人		3,941人
			福利厚生会	2人		3人		5人
			高大	102人	52人	32人		186人
			小中	59人	66人	20人		145人
			計	1,832人	1,329人	1,116人		4,277人
		団体	一般	49人	22人	90人		161人
			高大					
			小中					
			計	49人	22人	90人		161人
	共通券	個人	一般	15人	2人	1人		18人
			高大					
			小中	1人				1人
			計	16人	2人	1人		19人
		団体	一般					
			高大					
			小中					
			計					
	合計			1,897人	1,353人	1,207人		4,457人
	有料観覧者割合			72.8%	74.3%	66.9%		71.5%
	無料観覧者数	6 5 歳以上			351人	234人	295人	
小中			210人	91人	199人		500人	
障がい者			47人	35人	31人		113人	
留学生			8人		2人		10人	
介護者			30人	22人	13人		65人	
共通券		一般	9人	10人	2人		21人	
		高大						
		小中						
減免		一般						
		高大						
		小中						
多子家族		親	6人	15人	11人		32人	
		子	9人	23人	15人		47人	
視察			2人	6人	5人		13人	
招待			36人	33人	25人		94人	
合計			708人	469人	598人		1,775人	
無料観覧者割合			27.2%	25.7%	33.1%		28.5%	

(3) イベント開催

①流鏑馬（高照神社馬場跡）

○実施日:令和 6 年 6 月 2 3 日 (日) 1回目 10:15～、2回目 12:15～

○内容 天地淨射の儀(鳴鏑 5 射)、流鏑馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者: 459人(1回目288人、2回目171人)

(歴史館入館者:164人)

これまでの来場者数の推移

平成30年度 9/30(日) 293人(1回実施)

令和元年度 6/16(日) 午前の部・午後の部 合計638人(2回実施)

令和2年度 10/ 3(土) 入れ替え制1回目280人、2回目129人、3回目119人 合計528人

令和3年度 10/ 2(土)に予定 新型コロナウイルス感染者急拡大等のため中止

令和4年度 9/ 25(日) 入れ替え制1回目268人、2回目146人、3回目148人 合計562人

令和5年度 6/ 25(日) 入れ替え制1回目190人、2回目122人 合計312人

※市ホームページ、広報ひろさき、ポスターで周知。



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

○アンケートを web 限定で配布プログラムに QR コードを付けて引き続き実施… 10 人から回答

結果

② 初めて流鏑馬を観覧…60%

③ イベント前後で歴史館に入館…20%

④ 満足…90%

⑤ 今後歴史館に来館する可能性は「高い」を 10 段階中 7 以上選択した人…80%

⑤自由記載(抜粋)

●次は家族と見に来たい。

●子どもが甲冑を着てみる体験などがあったらよい。

②その他

一昨年まで実施していたロビーコンサート、抜刀道及び古武道演武イベントについては、緊急かつ不可欠な施設管理関連費用増大により、昨年度から当分の間、原則休止することとした。

(4) 講座等

①歴史館講座

歴史館に関するテーマで講座を 2 回開催。

開催日	テーマ	講師	募集 定員	参加者数 (当日入館者数)
7/20(土) (第 1 回)	暮らしを守る津軽の森林～藩政史料に みる“青い森”の実像～	萱場 真仁 氏 (公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所研究員)	25 名	17 人 (30 人)
11/2(土) (第 2 回)	高照神社を守り継いだ人々	蔦谷 大輔 氏 (弘前大学国史研究会会員)	25 名	24 人 (53 人)

会場：映像・講話室（電話申込による先着順）

②刀剣保護プロジェクト 刀剣鑑賞基礎講座

○実施日：1回目 令和 6 年 5 月 11 日(土) 14:30～15:10

2回目 令和 6 年 5 月 19 日(日) 10:30～11:30

○内 容：春の企画展「津軽の刀-悠久の美をひもとく-」に展示されている刀剣の中から選りすぐりの刀剣について、若手刀剣愛好家(日本美術刀剣保存協会青森県支部所属)がその目線による鑑賞ポイントや魅力などを分かりやすく説明するもの

○参加者：1回目 48 人（歴史館入館者：88 人）

2回目 42 人（歴史館入館者：96 人）

○アンケート結果より抜粋

- 刀剣について詳しく知る事ができ、自分で鑑賞したとしたら、楽しさが全く違ったものになっていたと思います。
- 初心者の方にもわかり易くていねいに説明して頂き、大変勉強になりました。太刀と刀の違いなども、理論的にわかりました。
- 日本刀についてとてもわかりやすく楽しかったです。歴史の話を入れながら持っていた人も想像できて楽しめました。実際に持ったりするのは難しいですが、外から見える刀の見方としてわかりやすかったです。

③弘前市出前講座等の講師派遣

- ・弘前市出前講座 No.64 「名君信政と高照神社の宝物」

実績：1回 36 人（依頼団体…弘前市中央公民館（桜松会・ベテランズセミナー））

- ・講師派遣依頼 「令和 6 年度秋の企画展「高照神社展」の紹介」

実績：1回 25 人（依頼団体…弘前ロータリクラブ例会）

(5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和 6 年 10 月 15 日（火）～ 20 日（日）のうち、歴史館分は 10 月 16 日（水）
所属大学・参加人数等：盛岡大学 1 名 弘前学院大学 2 名 計 3 名
実習内容：①施設・展示等解説
②資料の取り扱いについて（武具等）

(6) 出版物等の作製

- 出版物実績：なし
- たか丸くんクリアファイル(流鏑馬)を新規作製、4 月から販売開始



(7) 資料寄贈・寄託等

- ①寄贈：2 件 2 点（「肩衣」、「短刀 銘 津軽住人國俊造之」）
※【繰り越し分】令和 4 年度寄贈古文書類のうち、現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成のもの 1 件あり（寄贈手続きは完了）。分量は段ボール箱 5 箱分。
- ②寄託：1 件 2 点（市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更。単年での寄託更新であったが、寄託者との協議により令和 7 年度から 5 年ごとの更新に変更〕）
- ③購入：2 件 3 点（「脇差 銘 應田中知良需津軽住紀正賀於東武鍛之」、「関ヶ原合戦諸大名軍配置図」・「奥州津軽領絵図」）
- ④移管予定：1 件点数未確定（岩木地区関係古文書・絵図類）
※【繰り越し分】令和 5 年度に当館へ引き渡しを受けたもの。現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成。分量は段ボール箱 17 箱分

(8) 特別利用等

- ①資料閲覧・撮影：1 件 58 点（「高岡終始記」等〔近現代の高照神社の経営実態に関する研究に利用するため〕）
- ②画像データ提供：0 件
- ③資料掲載・放映：0 件
- ④資料貸出：0 件

(9) その他の事業等

- ①団体客等への解説対応
希望する団体等に対し、学芸員により解説を実施（原則予約制）
実績：27 回 551 人
上記のうち市内小中学校関係の解説対応：
実績：3 校計 4 回 267 人

N o. .	学校名	学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	時敏小	5 年生	68 人	史跡等公開活用事業	文化財課
2	時敏小	3 年生	56 人	校外学習(学校個別)	
3	北辰中	1 年生	34 人		
4	第四中	2 年生	109 人		

②レファレンス対応

窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。

実績: 6 2 件

③看板設置等

○市役所玄関に、展覧会毎に PR 用看板の設置を継続。

○市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に 3 本、歴史館建物管理用地道路入口に 1 本設置し PR

④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	単価(円)	R6 年度 販売実績 (10 月末現在)	累計販売実績 (R6.10 まで含む)	販売開始時期
名品図録	1,000	87 冊	493 冊	令和 2 年 4 月
クリアファイル 2 種類 太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	200	103 枚	528 枚	令和 2 年 3 月
クリアファイル 2 種類 たか丸くん(青・赤)	300	108 枚	175 枚	令和 5 年 6 月
絵葉書 3 種類 津軽信政着用具足レプリカ・太 刀 銘 友成・太刀 銘 真守	100	46 枚	211 枚	令和 2 年 3 月
ポスター(配布残部)	400	30 枚	115 枚	令和元年 1 0 月

——— メ モ ———

案件 3 令和 7 年度事業計画について

(1) 歴史館利用見込み

区 分	目標値	備 考
展覧会入館者数	7,000人	
イベント参加者	500人	流鏑馬（1日） 500人
歴史館講座参加者	90人	30人×3回＝90人
合 計	7,590人	

(2) 展覧会関係（年 4 回の展覧会を開催）

季節毎の企画展3本＋収蔵品紹介展（コレクション展）1本

※収蔵品紹介展（コレクション展）では高照神社奉納品や館収蔵品を幅広く紹介

〔主な変更点〕

① 展覧会区分名の変更

企画展4本 → 企画展3本＋収蔵品紹介展（コレクション展）1本

※収蔵品紹介展（コレクション展）では高照神社奉納品や館収蔵品を幅広く紹介

② 資料整理・撮影作業等のための休館期間の設定

令和7年12月22日から令和8年1月16日までの年末年始休暇を除く20日間

博物館法改正にともなう登録博物館の申請（＊令和10年（2028）3月末までに審査完了が必須）
に向けた未整理資料の整理・目録データの作成、資料写真の撮影作業を集中して行う